

参考資料 1 愛知県がん対策推進計画の中で使用している用語の説明

あ行

愛知県がん診療連携協議会

県内のがん診療連携拠点病院を構成員として、がん対策や拠点病院の課題を協議しています。

院内がん登録

医療機関において、がんの診断、治療、予後などの情報を集積し、院内におけるがん診療の向上と患者への支援を目指して行われる登録事業のことです。

疫学

病気の原因などを究明する医学の分野の一つですが、ここでは、がんの原因と発生に関する研究とそれらを予防に役立てる研究の意味で使っています。

か行

化学療法

狭義では、化学物質（抗がん剤）を用いて、がん細胞の分裂を抑え、破壊する治療法を指します。また、広義で使用する場合には、抗がん剤やホルモン剤、免疫力を高める免疫賦活剤などの薬剤を使用して行われる治療法全般を指す薬物療法と同様の意味で用いられる場合があります。

緩和ケア

単なる延命治療ではなく、治療の初期段階から末期までの身体的及び精神的な苦痛を緩和するとともに、生活面でのケア、家族への精神的ケアなどを行う、患者の「生」への質を重視した医療をいいます。

緩和ケアチーム

がん患者の主治医等からの依頼を受けて、患者等に緩和ケアを提供する医師、看護師、臨床心理士等から構成されるチームのことで、その設置はがん診療連携拠点病院の指定要件のひとつになっています。

がん診療連携拠点病院

全国どこに住んでいても均しく高度ながん医療を受けることができるよう、国は平成13年度から「地域がん診療拠点病院」を整備することにしました。その後、平成18年2月1日に新たに「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」を策定し、がん診療連携拠点病院の整備促進を図ることになりました。がん診療連携拠点病院は、厚生労働大臣が指定する病院であり、緩和ケアチーム、相談支援センターなどの設置等が義務付けられています。都道府県に概ね1か所指定される都道府県がん診療連携拠点病院と2次医療圏に1か所程度指定される地域がん診療連携拠点病院があります。

がん専門薬剤師

がんの薬物療法に精通した薬剤師として、日本病院薬剤師会が定める一定の基準を満たした場合に認定が受けられます。

がん対策基本法

我が国のがん対策を総合的かつ計画的に推進するため、平成19年4月1日に施行されました。がんの早期発見及び予防の推進、がん医療の均てん化（いつでも、どこでも同じように）の促進、がん研究の推進を基本的施策とするとともに、政府に「がん対策推進基本計画」、都道府県に「都道府県がん対策推進計画」の策定を義務づけています。

がん対策推進基本計画

がん対策基本法に基づき、がん対策の総合的かつ計画的な推進を図るため、がん対策の基本的方向性について定めるとともに、都道府県がん対策推進計画の基本となるものです。平成19年6月15日に閣議決定されました。

がんの年齢調整死亡率

がんによる死亡数を人口で割ったものを死亡率（粗死亡率）といいます。ただ、一般的に高齢者が多いと死亡率が高くなる傾向があり、粗死亡率は年齢構成の影響を受けますので、他の地域との適切な比較ができません。そこで、人口の年齢構成の影響を調整するため基準人口（モデル人口）を用いて補正して計算したものを年齢調整死亡率と呼んでいます。

がんの年齢調整罹患率

がんにかかった人の数（罹患者数）を人口で割って計算したものを罹患率といいます。がんの年齢調整死亡率と同様に、基準人口を用いて人口の年齢構成による影響を補正して計算した罹患率を指します。

グリーフケア

大切な人や愛する人を失った場合、大きな悲しみ、悲嘆（グリーフ）を感じます。グリーフケアとは、こうした大きな悲しみを持った人を精神的、身体的に支える（ケア）ことを言います。

さ行

サイコオンコロジー

サイコ（精神）オンコロジー（腫瘍学）は精神腫瘍学とも言われます。がん患者や患者の家族などの精神的な問題解決を目的とした医学の分野です。

脂肪エネルギー比率

総摂取エネルギーに占める脂肪からの摂取エネルギーの割合です。

$$\frac{\text{脂肪量 (g)} \times 9 \text{ kcal}}{\text{総摂取エネルギー - kcal}} \times 100 = \text{脂肪エネルギー比率 (\%)}$$

脂肪 1g あたり 9kcal のエネルギーになります。

小児がん

一般にがんは、出来た部位によって例えば胃がん、肺がんなどと呼ばれますが、小児期にがんを発症した場合には、総称して小児がんと呼ばれています。大人のがんの場合には、上皮から発生するケースが多いのですが、小児がんは白血病、脳腫瘍、悪性リンパ腫などの上皮でない部位から発生する（非上皮性）腫瘍が多いといった違いがあります。

浸潤

がんには周囲の組織に広がっていく（入り込んでいく）性質があります。これを浸潤と言います。なお、離れた場所（臓器など）にがん細胞が飛んでいくことを転移といいます。

生活習慣病対策協議会

生活習慣を原因として発生するさまざまな病気を生活習慣病と呼び、生活習慣病の予防として、生活習慣の見直し、改善を基本とした生活習慣病対策を協議するため、愛知県では生活習慣病対策協議会を開催しています。

精神腫瘍医

がん患者や患者の家族などの精神的な問題解決を目的とした医学の分野である精神腫瘍学（サイコオンコロジー）を専門的に行う医師です。

セカンドオピニオン

主治医以外の第三者の医師による診断、治療方法などに対する意見を指します。

専門看護師

保健師、看護師及び助産師の免許所有者が日本看護協会認定の教育課程（大学院修士課程）を修了後、一定期間以上の実務研修終了後に認定審査に合格した場合に認定されます。現在、がん看護など9分野があります。

相談支援センター

がん患者や家族などから、がんに関わる治療や経済的な問題などさまざまな相談窓口として、がん診療連携拠点病院に設置されています。

臓器別がん登録

学会や研究会が中心となって臓器別を実施されているがん登録で、比較的大きな病院からデータが集まっています。適切な治療方針や進行度分類のあり方などを検討するために行われています。

た行

地域がん登録

がんの罹患状況やがんと生活習慣との関連を把握するために行う登録で、医療機関からの届出により行うものです。この医療機関からの届出は、個人情報保護法第16条第3項第3号の規定等により、同法に違反しないということが認められています。

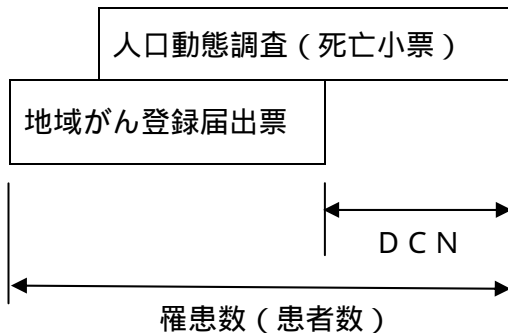
地域連携クリティカルパス

地域内で各医療機関が共有する、各患者に対する治療開始から終了までの全体的な計画のことです。

DCN

地域がん登録の届出票の提出がされていなくて、人口動態調査（死亡小票）のみによって把握した患者の割合を示すもので、数値が小さい方が登録の精度が高いこととなります。Death Certificate Notificationの頭文字です。

《DCNのイメージ図》



特定機能病院

医療法に基づき制度化された医療機関の機能別区分の一つで、高度先端医療を必要とする患者に対応する病院として、一定の要件のもと厚生労働大臣の承認を受けます。

な行

2次医療圏

1次医療（通院医療）から2次医療（入院医療）までを提供して、一般病床、療養病床の整備を図るための地域の単位として設定する区域です。

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

さまざまながん関連の専門医制度に共通する基盤的知識や技術を標準化して認定する制度で、日本癌学会、日本癌治療学会及び日本臨床腫瘍学会の3学会と全国がん（成人病）センター協議会により構成される日本がん治療認定医機構が認定します。

日本病理学会認定病理専門医

日本病理学会の認定試験に合格した専門医で、患者から採取された組織や細胞などを顕微鏡で観察して病気を診断する病理診断や細胞診などに関する専門的知識と技能を有しています。

日本放射線腫瘍学会認定医

放射線腫瘍学やこれに関連する研究の促進を図って学術の発展に寄与することを目的にしている日本放射線腫瘍学会が行う認定制度で、放射線治療に携わる医師及び技師の専門知識と技能の向上を図り、放射線治療の推進に努めることを目的としています。

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医

安全で有効な化学療法の推進に取り組んでいる日本臨床腫瘍学会が行う認定制度で、化学療法（抗がん剤による治療法）に携わる専門知識と技能を有した専門医として、がん薬物療法専門医と呼ばれています。

認定看護師

一定期間以上の実務研修を修了した保健師、看護師及び助産師の免許所有者が日本看護協会認定の看護師教育機関にて6か月以上の教育を受け、認定審査に合格した場合に認定されます。がん化学療法看護、がん性疼痛看護などの分野があります。

は行

病病連携、病診連携

医療の提供にあたって、病院と病院が連携したり（病病連携）、病院と診療所が連携する（病診連携）ことを指します。

ペインクリニック

ペインクリニックでは、専門的な知識や技能をもとにして有害な痛みを緩和するため、薬物療法などの方法により治療を行っています。

放射線治療専門技師

専門的に放射線療法を行う診療放射線技師で、日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会及び日本放射線技師会の関連3学会により設立された放射線治療専門技師認定機構が認定します。

放射線治療品質管理士

物理的に放射線治療の精度管理を支援する診療放射線技師で、日本放射線腫瘍学会、日本医学放射線学会、日本医学物理学会、日本放射線技術学会及び日本放射線技師会の関連5学会により設立された放射線治療品質管理機構が認定します。

ら行

粒子線治療

水素や炭素の原子核を高速に加速したものを粒子線といいます。従来のエックス線による治療と比較して、がん細胞周囲の正常組織の損傷が最小限に抑えられ、がん細胞のみを強力に狙い打ちすることができる点で大きな効果が期待できるがん治療法です。